

飯島澄男名城大学教授を特別招へい教授として招致

8月1日(水)、総長応接室において、飯島澄男名城大学大学院理工学研究科教授に対する特別招へい教授の委嘱状交付式が挙行されました。

今年4月に制定された特別招へい教授制度は、本学の教育・研究活動を一層推進するため、優れた業績を有する研究者を招致するもので、飯島教授への委嘱はその第1号と



委嘱状を交付し握手する平野総長（左）と飯島教授（右）

なります。

飯島教授は、カーボンナノチューブの発見者としてその名を世界に轟かせていますが、高分解能透過型電子顕微鏡法の世界最高峰のスペシャリストでもあり、世界のナノサイエンスとナノテクノロジーを日々牽引し続けています。現在のナノテクノロジーの隆盛は、1991年の飯島教授によるカーボンナノチューブの発見から始まったと言っても過言ではありません。

交付式後の懇談では、平野総長から、飯島教授のサイエンスに対する厳しくかつ真摯な姿勢と、ロマンを感じさせる研究スタイルにより、本学の若い学生や研究者に強い感銘を与えていただきたい、とのお話がありました。

世界的に著名な飯島教授に助言をいただくことで、本学のさらなる発展が期待されます。